

「第4次河北町ごみ処理基本計画（案）」に対する意見について

提出された意見の概要及び当該意見に対する町の考え方

No.	意見概要	意見への町の考え方
1	小さい区画で個人が出店するリサイクル市を開催してはどうか。ほくほくまつりやひな祭りなど人が集まるときに風呂敷を広げて不用品を売るイメージ。子供が要らなくなったおもちゃを売るなど自由に値段をつけて売り買いする。 町は場所を提供して宣伝してくれると良いと考える。大きい家具などは写真等でやり取りし、合意したら販売者と購入者で運搬方法を決める。人と人が出会い、コミュニケーションの場にもなる。	貴重なご意見ありがとうございます。いわゆる「フリーマーケット」の開催は、地域住民が不要品を売買する場を提供することで、リユースの促進や地域コミュニティの活性化に寄与する重要な活動であると認識しております。また、不要品の再利用を促進することにより、ごみの減量にも寄与することが期待され、環境意識の向上にもつながるため、持続可能な社会の実現に向けた一助となると考えております。 計画本文においては、町の役割として「フリーマーケット」について追記し、町としても運営に必要な情報や場所の提供、広報活動などを行いながら、ものを大切に使う取り組みを推進してまいります。